



復讐に飢えた

没落令嬢を

メス堕ちするまで

飼いならし、

娶る。

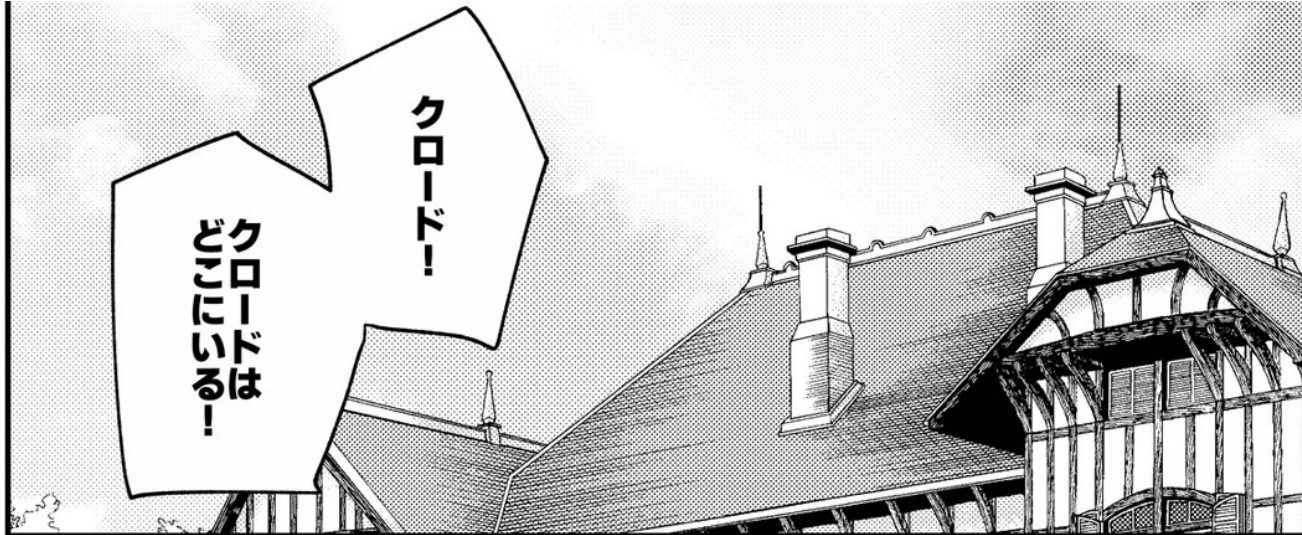
作画 潮汐きよし 企画 diletta

復讐に飢えた

没落令嬢を

メス堕ちするまで

飼いならし、娶る。



私は今夜
この男を殺す



仰せのままだに



お呼びでしょうか



私は元々
国境付近の土地を
治める貴族の元で
産まれた

広い領土ではないが
自然と農耕
畜産に恵まれた
穏やかな土地で
何不自由なく育った

しかし、物心つく頃
父と母は
最低限の荷物と
私を連れて
産まれ故郷を
去ることになった



慣れない生活により
父が病で亡くなり
数年後、母も私を残して
この世を去った



そして、父の配下だった
マルセルの
裏切りによって
私達家族の日常が壊れた
ことを知ったのは
母の遺品の日記だった



そして
使用人として
この屋敷へ
戻ってきた



私はマルセルに
復讐するため
自慢だった
長い髪を切り



領民の税で
私腹を肥やし
父の屋敷で野放図な
暮らしをするこの男に



乗っ取られた屋敷は
以前のような荘厳さは
なく、下品な内装と
装飾に改装されており



私の手で

天罰を
下してやる



使用人を
出払わせてなお
この警戒心の無さ

相当馬鹿なの
だろう

まともな貴族なら
気が気じゃなくて
ろくに眠れやしない

お父様
お母様

私は今日
悲願を果たします

チャキ...

…愚かな男

グッ
グッ
グッ

グッ
グッ

積年の恨み

今、ムキで…!!

馬鹿なっ…!!?

なに!?

ッ…!

ガッ
=ッ



意識が...

ダ...ムッ...

グッ



くっ...

途...切れ...

あ...



ギッ

ギッ

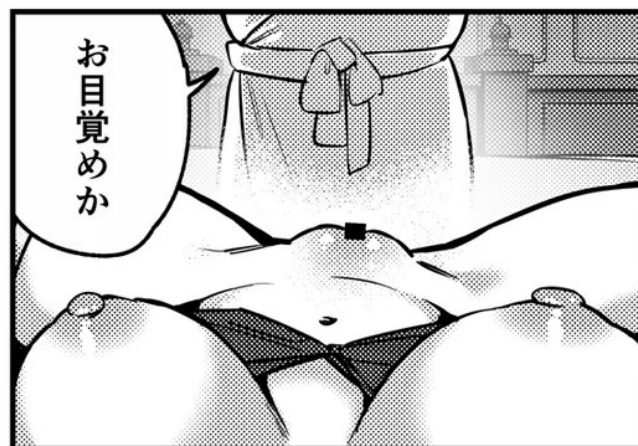
ギッ

ギッ

甘いんだよ

お前も

お前の親父も



ハハハッ
いつからだと？

お前がこの屋敷に
使用人として
戻ってきた
時からだよ

な…!?

そんな粗末な
男装で
俺を騙せると
思っていたのか

粗末…!?

そんな…
最初から…

ククッ
失望したか

今なら
俺の女として
優しく使って
やらなくもない

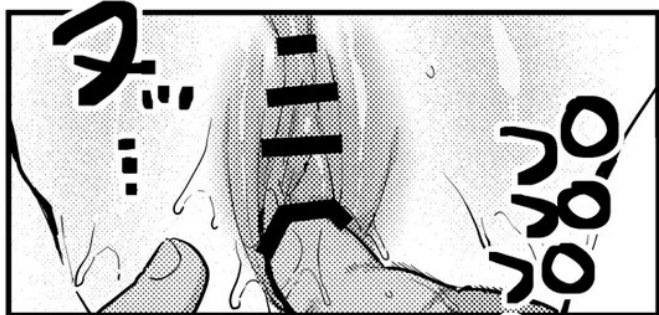
そうかア…
なら

!!

ズリ…

ハ！

誰が貴様のような
下劣な男に
媚びるといふのか





嫌っ!
私の純潔!

お父様!
お母様!

嫌っ!
私の純潔!

お父様!
お母様!

うぐっ...!

ふっ...!!

嫌あ...!!

12

うぐっ...!

ふっ...!!

嫌あ...!!

12

あ…

お…

ハハハハハハハハハハ

あああ

ハハハハハハハハハハ

あああ





その心も
俺のモノに
してくれよう



くっそお...

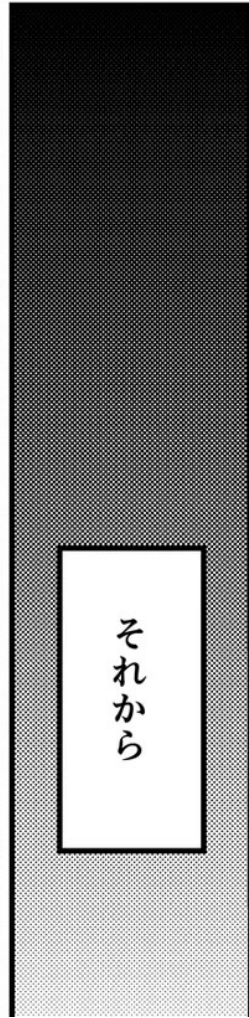
クハアッ...
伯爵令嬢マンコ
たまらんなあ

あ、

元「伯爵令嬢」
だったな

やめろ.....!

ハハハハ





マルセルは毎日
夜伽の相手に
私を選んだ

下衆野郎
こんなもの...

噛み
ちぎって
殺して
やる!

クハッ
やっ
みる!!



まっへろ...
ふえったい...
ころひ
へやう...

大きすぎて
顎が外れそうだ...

噛むどころの
話ではない...!





毎日毎日
この男に身体を
弄ばれ続けて



自分の身体がおかしく
なつてゆくを感じていた...

ゆっくり
しかし確実に



たとえ肉体が壊れたとしても

心だけには…こんな男の
言いなりになつたりはしない!!

そうだ：
良いモノを
仕入れてやったぞ





お母様...



貴様あッ!

一体どこまで私達を愚弄すれば気が済むかッ!!



お前の母親そつくりだ



感謝しないか



なにを人聞きの悪い

私はねのお前らのようになに高慢な女に

メスの本懐を教え込んでやってるんだ



何を気持ちの悪いことを...



気持ち悪い
とは心外
だぞッ

こんなに膣内を
ヒクつかせて
おいて
内心喜んでいない
女はいない



そういえば

アッ...



お前の母も
よく吸い付く
名器だった
なア

...は？



こんな
ふうにつ
上から
潰され
るのが
っ

好き
だッ
たん



嘘な訳あるか

な、な、なッ
何を
世迷言をッ

そんな話
誰が
信じるかッ

大体
考えた事は
なかったのか

貴族堕ちの
未亡人ができる
仕事なんて
ろくな物が無いと
いうことに

父の亡き後
女手一つで
私を養ってくれた
お母様は

貧しいなかでも
淑女として
最低限の
教育と生活を
させてくれた

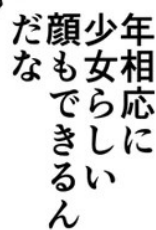
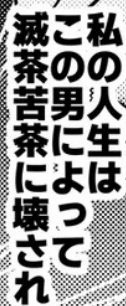
住む場所も
食べるものも

ああお母様

着る服も
勉強も

何かも
この男が

なぜ気付いて
あげられなかったん
だろう



なんだ

泣いて
いるのか



こらこら
今更抵抗するな

脚を開かんか

まあ馴け甲斐が
あるのも
また良しか



お母様は本当に
こんなことを
喜んで...?



.....屈辱だ





私は 貴様のメスになりますう♡

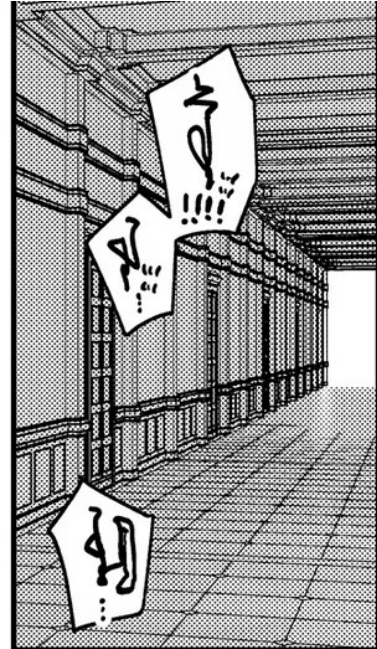
ククク…
その棘のある言葉
いつまで吐けるか
見ものだな

たっぷり
楽しむか…



くうッ…
出るぞッ!

あれから何日…
いや、何週間
経ったのだろう



すっかり
抵抗する力を
失っていた



私の身体は
休みなく
マルセルに
犯され続けて



身体的な
問題じゃない



自分の心すらも
擦り減っていくのを
感じていた



ホラ：
掃除はお前の
仕事だろ



クロエ…
もうそろそろ
素直に
ならないか

流石に
嫌がる女を
犯すのも
飽きてきたぞ





はっ？



俺の妻になれ
クロエ

心から俺を愛し
俺に尽くせ



バカに
おらん

愛する者との
まぐわいは
心満たされ
ものはない



なに…それ



散々のおうに
娼婦のように
扱つておいて
今度は妻に
要るだに!?

どこまでも
バカに
してツ…!!



そうすればお前は
沈んだ気持ちのまま
俺に抱かれることも
ないのだから



俺との行為が
嫌なら
俺を好きに
なればいい



さあ

想像すると
身体が…

口に
出してみろ



通るわけ
ないのに



そんな

馬鹿みたいな
理論が

はっ



ああ…

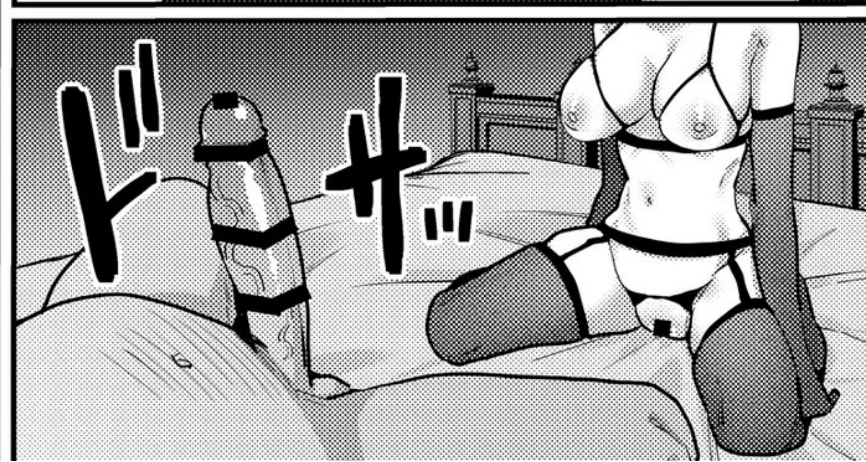


マ、マ…
マルセル…が…

すっ…
好き…

わ…私、は…







認める...

は...

は...

私の口で...

は...

は



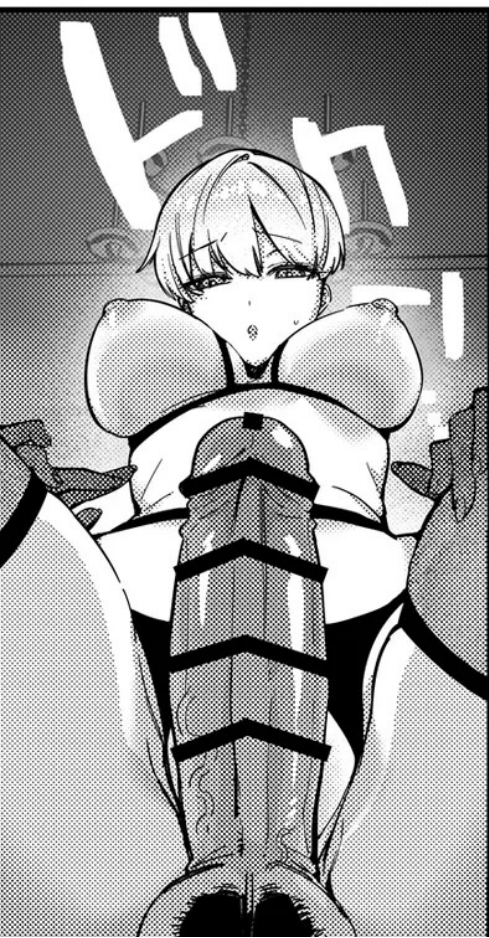
そして

俺のモノになると
その口で誓え

ド

コ

コ



私、クロエ・
ジェレミアスは...

マルセル・ド・
ウインテール伯爵の

つ、妻として...

生涯旦那様を
愛し、尽くす事を

ド

ド

ド

誓いますッ♥♥♥

ああ…私の人生……

終わった……



膣の奥まで
突き上げる快楽に
気が狂って
しまいそう……!

グー……

グー……

ああつ…
たまらんツ

おれんじ

射精るっッ

~~~~~











最初から  
こうすれば  
よかったんだ

なんて  
愚かな事を  
してしまったん  
だろう

強いオスに隷属するのは  
メスとして当然の事…

ははは



これが  
淑女にとって  
最高の幸せ…

舐めろ





おはおは

地位も金も

名誉も

女を壊す術も  
持った最強の

男

本能で媚びずには  
いられないっずには  
♡♡♡

勝てるわけがないっ♡

イイ...♡

あゝ













好き…  
♥♥♥





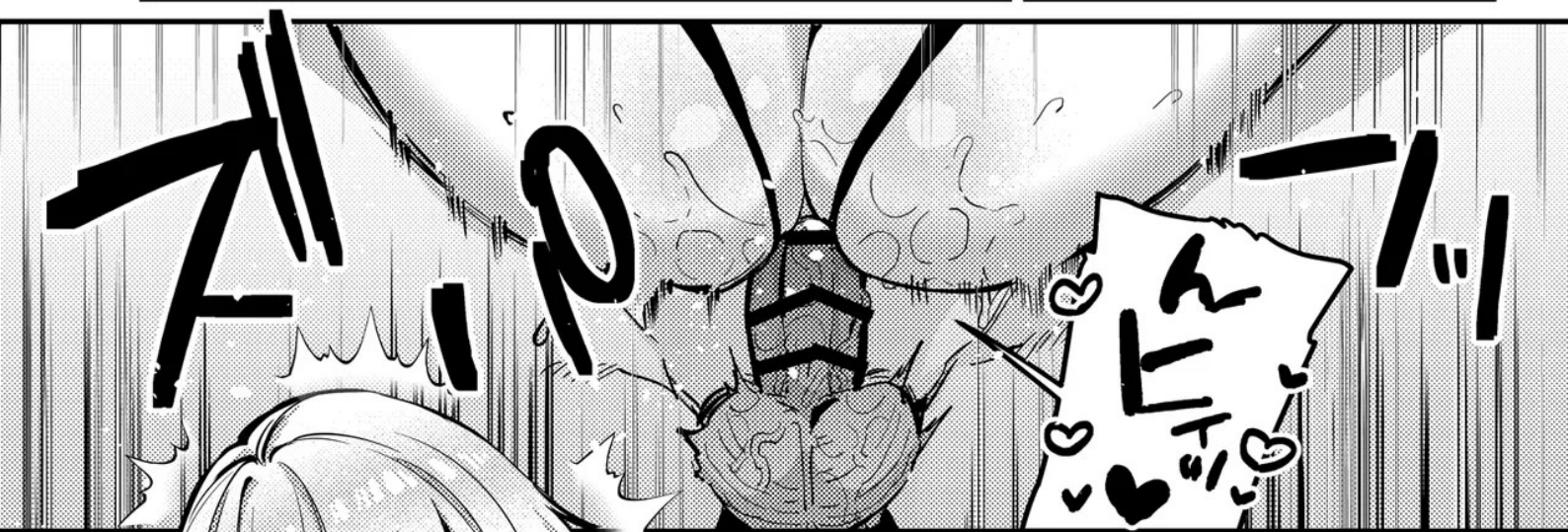


!!

いいぞ



ハハ…  
随分可愛らしく  
なったじゃないか



あー

あー

あー

あー

あー

あー

あー

あー

男らしくてっ  
たくましいっ ♡♡

惚れ惚れして  
しまいますっ ♡

私のご主人様 ♡

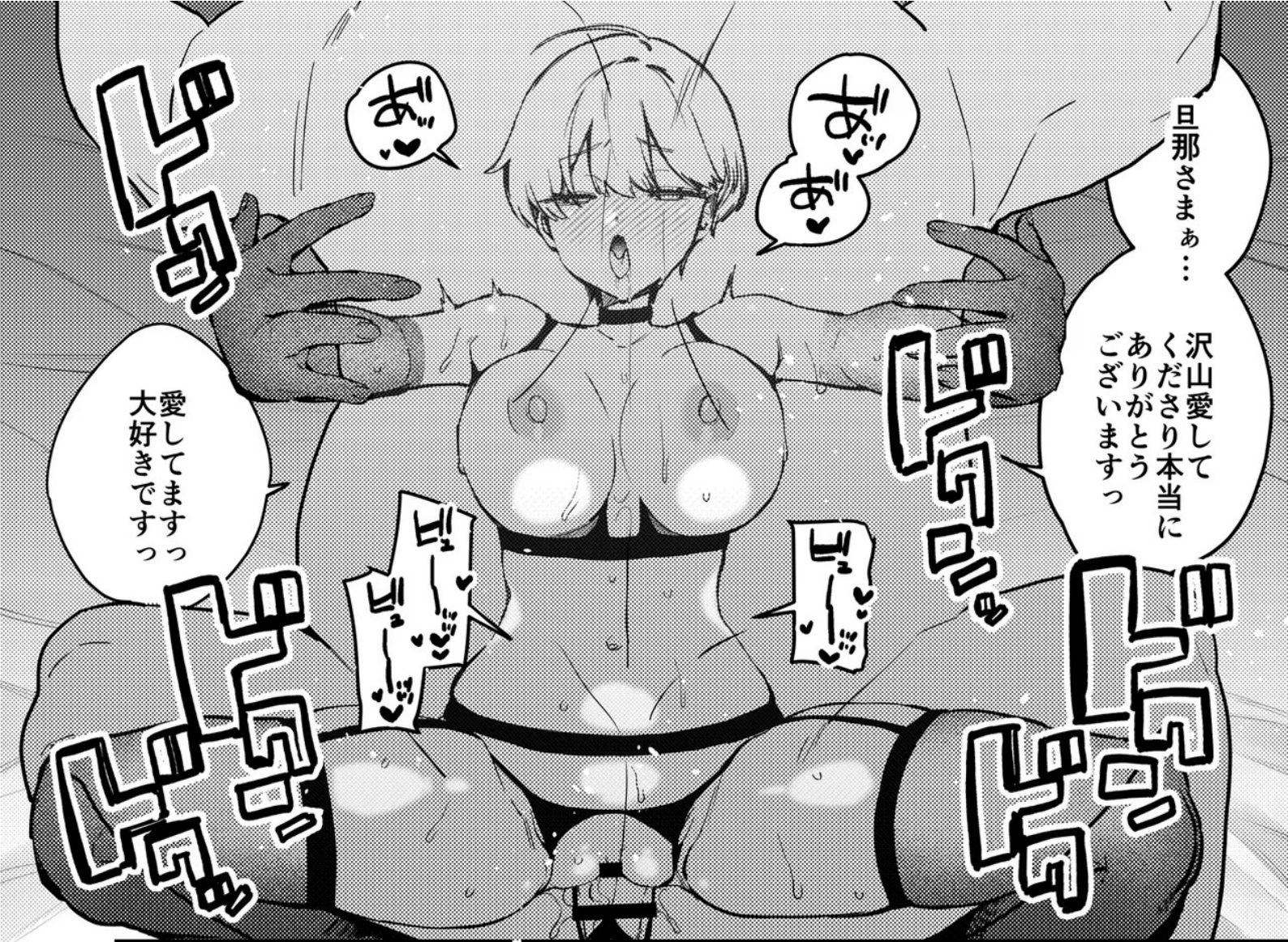












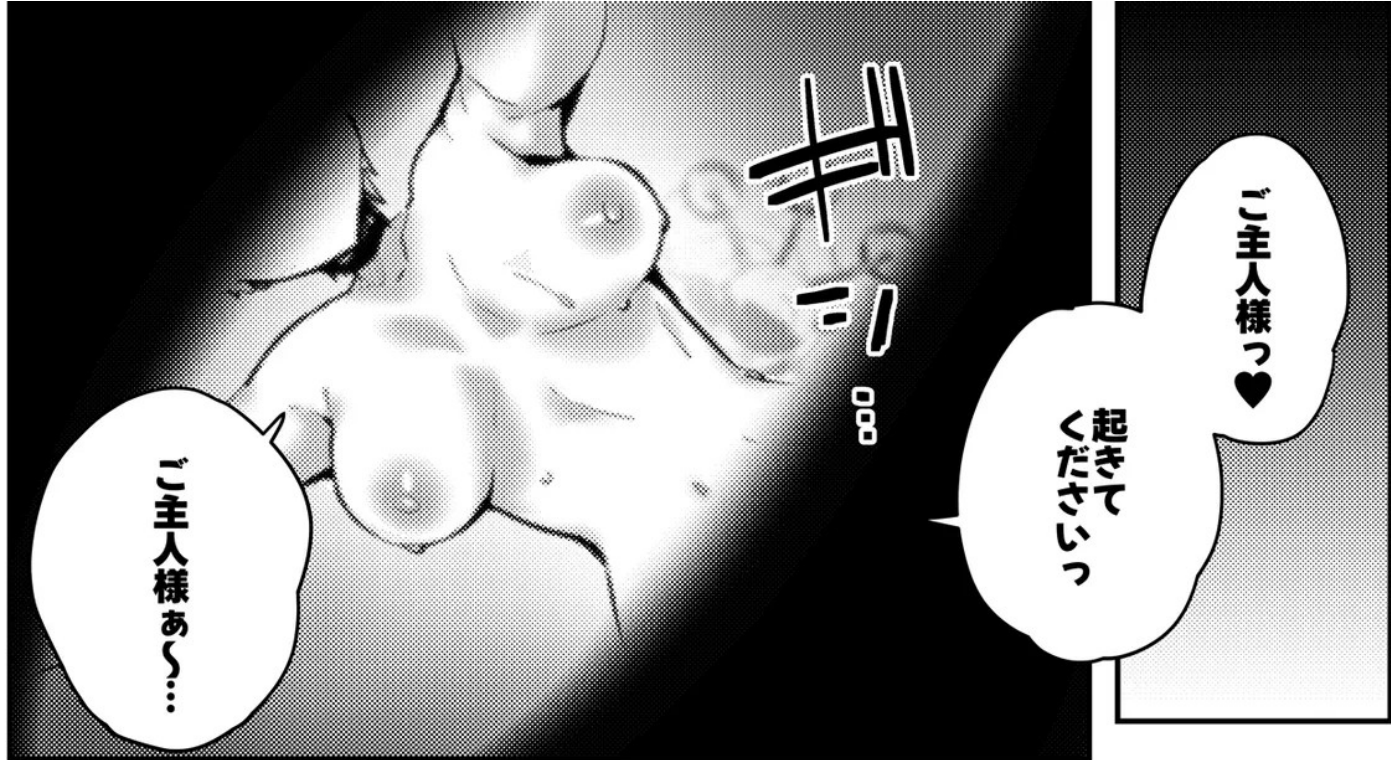




この先、未来永劫  
お前の復讐が  
叶う事は絶対に無い

お前は一生  
肉人形として俺に  
飼い続けられるの  
だから…











その調子で  
私を満足させろ

そして

私の子を  
産み育てろ

クロエ

はいっ♡

マルセル様の  
仰せのままに……♡

おわり♡



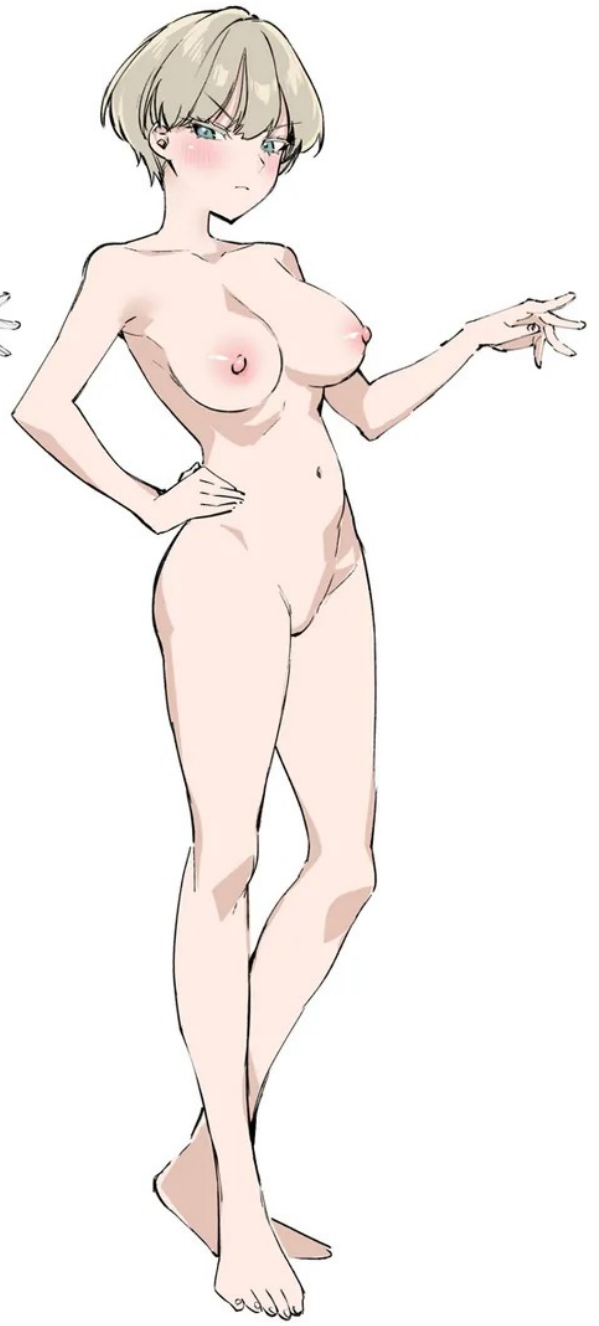
復讐に飢えた  
没落令嬢を  
メス堕ちするまで  
飼いならし、  
娶る。







クロエ・ジェレミアス



マルセル・ド・ウィンテール

